
第2次匝瑳市総合計画策定のための 団体意識調査

結果報告書

平成30年12月

匝瑳市

<目次>

第1章 調査の目的と実施概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の概要	3
3 報告書のみかた	3
第2章 調査結果	5
1 団体の状況	7
問1 貴団体について	7
2 活動における課題	8
問2 現在どのような課題や困りごとがありますか。	8
問3 課題を解決するために取り組んでいることは何ですか。	9
問4 貴団体の活動を充実させる上で、市に期待する支援は何ですか。	9
問5 活動を充実させるために、地域や市民に求めることは何ですか。	10
3 まちづくりの方向性	11
問6 今後のまちづくりで、特に力を入れるべき項目は何だと思えますか。	11
問7 今後のまちづくりについてのご意見・ご提案についてお聞かせください。 ..	12
問8 ご提案に関連して、取り組むことができる活動があればお聞かせください。 ..	12
第3章 自由記入・その他	15
第4章 意識調査票	23

第1章 調査の目的と実施概要

第1章 調査の目的と実施概要

1 調査の目的

「匠瑤市総合計画」が平成31年度(2019年度)で最終年度を迎えることから、2020年度から2031年度を計画年度とする「第2次匠瑤市総合計画」の策定に当たり、市内で活動されている団体の方々の意見をうかがい、計画策定の参考とすることを目的として実施しました。

2 調査の概要

調査対象	市内各種団体
調査期間	平成30年7月17日～平成30年8月17日
調査方法	郵送配付・回収
回収状況	配付数：63票　回収数：51票　回収率：81.0%

3 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問の中には、前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。
- 傾向において、差があるという場合は、主に全体に対し5ポイント以上の差がある場合を意味します。

第 2 章 調査結果

第2章 調査結果

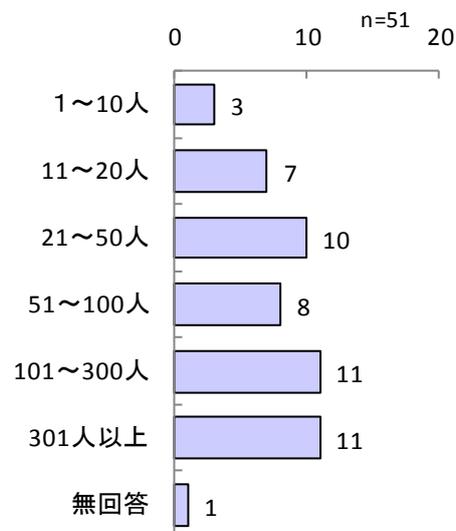
団体意識調査については回答者数(n)が51と少数であるため、各図表や文中においては回答数で記載をします。

1 団体の状況

問1 貴団体について、それぞれ項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

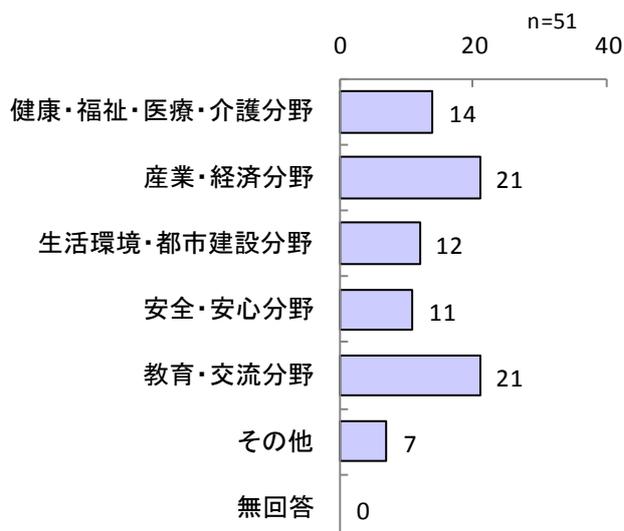
①メンバー・会員数

メンバー・会員数については、「101～300人」と「301人以上」がそれぞれ11団体などとなっています。



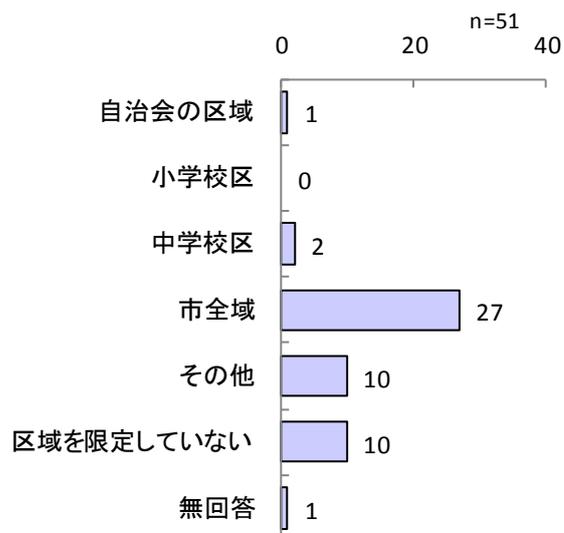
②活動分野

活動分野については「産業経済分野」と「教育・交流分野」がそれぞれ21団体などとなっています。



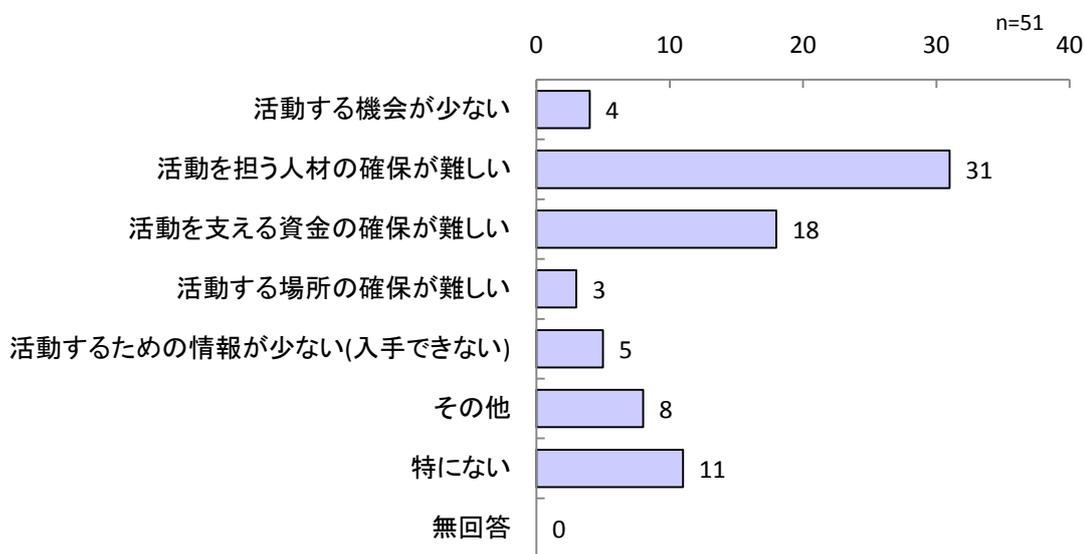
③活動範囲

活動範囲については、「市全域」が最も多く 27 団体などとなっています。



2 活動における課題

問2 貴団体の活動において、現在どのような課題や困りごとがありますか。
(あてはまるものすべてに○)



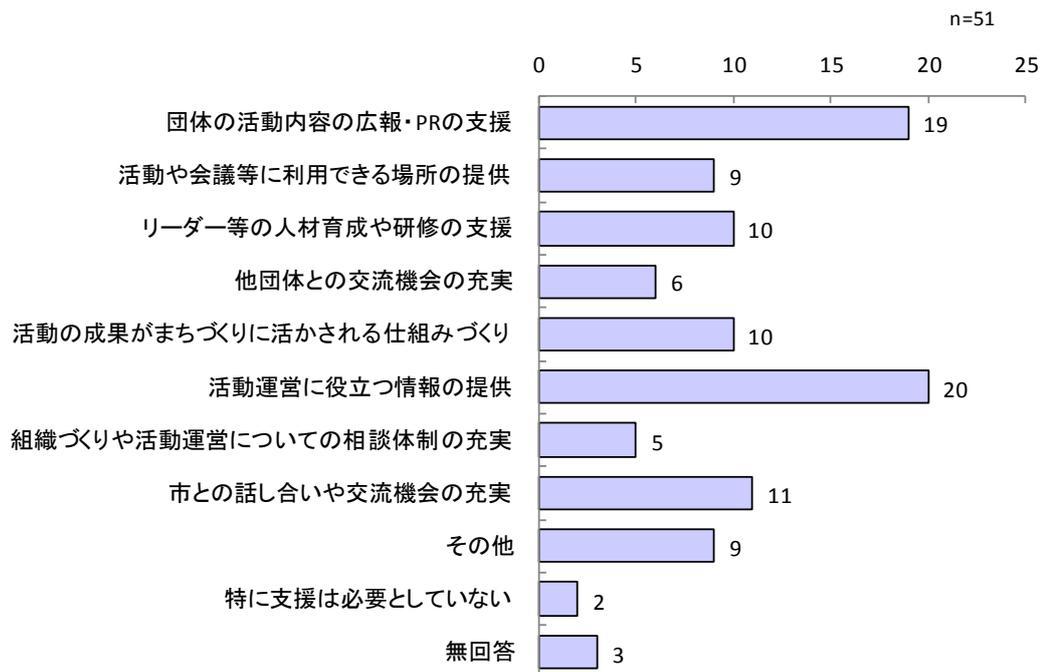
活動における課題としては、「活動を担う人材の確保が難しい」が 31 団体で最も多く、次いで「活動を支える資金の確保が難しい」が 18 団体、「特にない」が 11 団体などとなっています。

問3 問2の課題を解決するために、貴団体が取り組んでいることは何ですか。
(自由記入)

■回答の分類

分類	件数(件)
人材の確保に向けた動き	11
意見交換・情報共有	6
イベントの開催	4
活動費の確保	3
広報・PR	2
その他	8

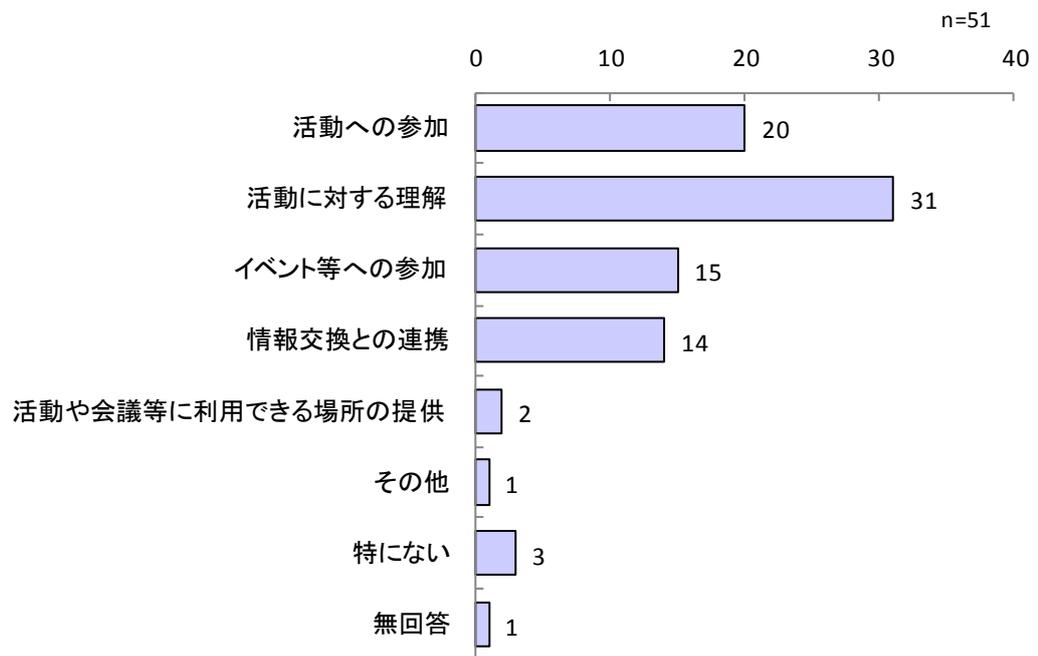
問4 貴団体の活動を充実させる上で、市に期待する支援は何ですか。
(3つまで○)



活動の充実のために市に期待する支援としては、「活動運営に役立つ情報の提供」が20団体で最も多く、次いで、「団体の活動内容の広報・PRの支援」が19団体、「市との話し合いや交流機会の充実」が11団体などとなっています。

問5 活動を充実させるために、地域や市民に求めることは何ですか。

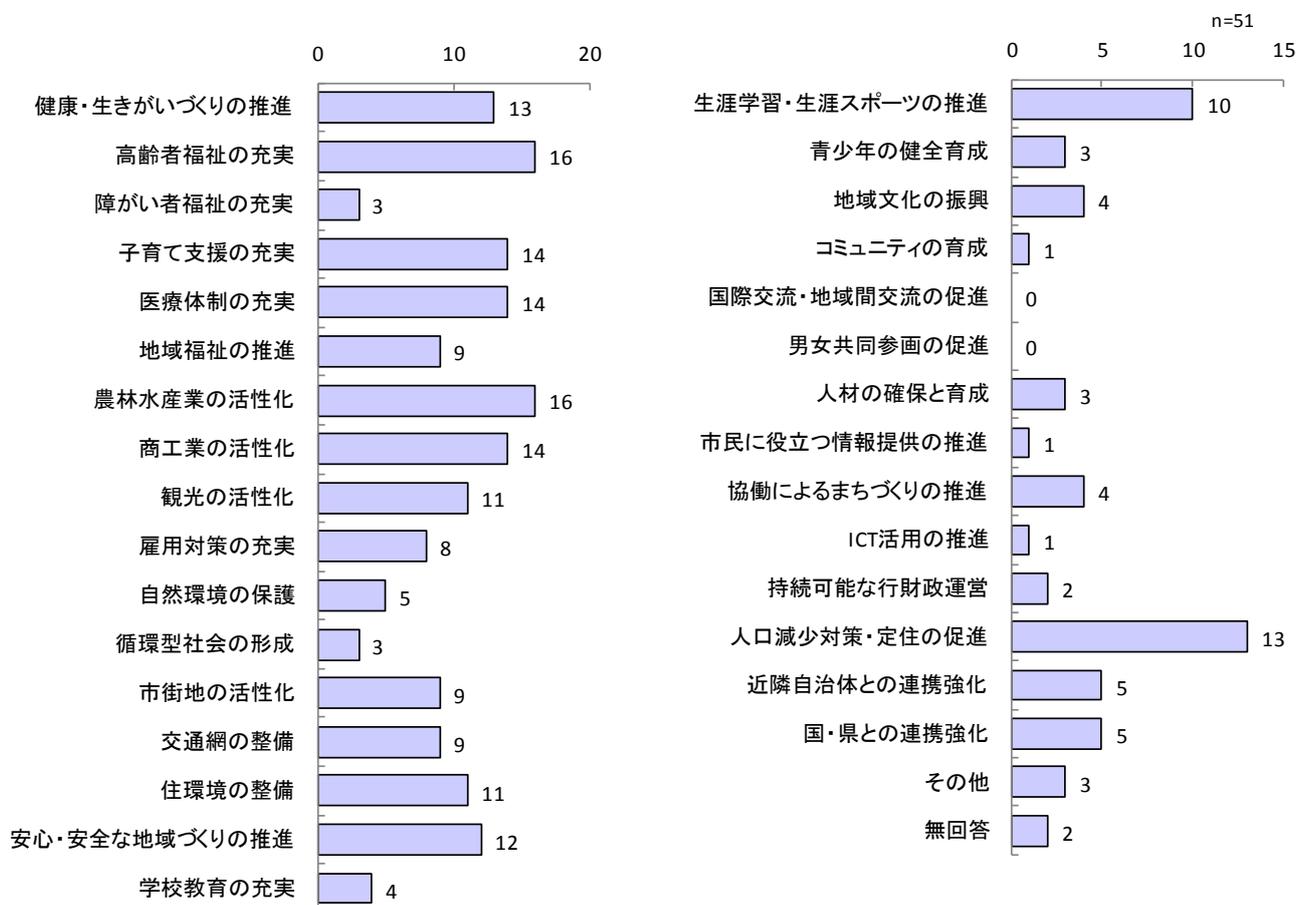
(2つまで○)



活動の充実のために地域や市民に求めることとしては、「活動に対する理解」が31団体で最も多く、次いで「活動への参加」が20団体、「イベント等への参加」が15団体などとなっています。

3 まちづくりの方向性

問6 匠瑛市の今後のまちづくりで、特に力を入れるべき項目は何だと思えますか。
(5つまで○)



今後のまちづくりで特に力を入れるべき項目としては、「高齢者福祉の充実」と「農林水産業の活性化」が16団体で最も多く、次いで「子育て支援の充実」と「医療体制の充実」、「商工業の活性化」が14団体などとなっています。

問7 貴団体の立場から、匠瑛市の今後のまちづくりについてのご意見・ご提案がありましたらお聞かせください。 (自由記入)

問8 問7のご提案に関連して、貴団体で取り組むことができる(できそうな・取り組みたい)活動があれば、お聞かせください。 (自由記入)

まちづくりへの意見・提案(問7)	問7の回答に対してできること(問8)
<ul style="list-style-type: none"> ●匠瑛市の将来都市像に掲げた自然と人の温かさをより前面に打ち出した移住対策の促進。 ●東京中心都市部などに匠瑛市を思い切ってアピールする。 ●アンテナショップ、広報活動等で発信。「東総広域などの活用」 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、匠瑛市に移り住んでいる方々から当市の魅力をうかがうことによって、ヒントが生まれると思う。 ●市内の各地区社協も災害時要援護者対策、多事業活動に対して移り住んでいる方の意見も交えて今後の活動に資する。
匠瑛市は経済の活性化・再生が急務である。イノベーションを起こし、経済を活性化させるためには、行政の施策・支援が欠かせない。外に出ていくお金を減らし、匠瑛市内で循環させる事が大事。(メリハリのある総合計画づくりが望まれる。)	ボランティア団体で、できることは限定されるが、ボランティア活動の有償化を促進することにより、経済的な活動の一助にすることができる。(例)地域の福祉施設や企業と連携し、外注に出していた細かなもの(雑用的なもの)をボランティア団体が格安有償で引き受ける制度の導入等が考えられる。施設や企業も経費節減になり、ボランティア団体も資金を獲得することができる。(外に出ていくお金を減らすことができる。)
24時間システムでは、市民病院・九十九里ホーム病院・東陽病院のバックアップを後方支援病院としてベッドの確保等をお願いしています。市としてもこの状況の継続(地域包括ケアシステムの役割)に協力をお願いします。	
障害者・高齢者に優しいまちづくり。	障害者の相談活動、一般の人に障害者理解を得る活動。
青年会議所活動、運動として問6のすべての項目に当てはまります。基本的には、地域社会をどう開発し、発展させていくかが青年会議所の団体として主要なテーマになります。行政・市民と一体となり、地域発展のために青年会議所をひとつの方法論として考えていきたい	問7に同じ。
社会福祉法人などは、障害者などのコミュニティーの場として、看護・介護・食事・交通の便(事業所の車)があり、余暇支援などに適しているように思います。卒業後の障害者の見守り体制がほしいです。就労できない方にも容易な仕事が提供できれば良いと思います。	日中一時支援事業なので、資金面で活動を広げるとは無理です。
障害のある人達が生涯にわたって、住み慣れた地域で、ひとりの市民として充実した生活をしていけるよう、様々な施策や事業の円滑な実施を望みます。地域社会の中で、障害のある方を大切にしたいまちづくりは誰にとっても安心で、住みやすいまちになると思います。	
雨天時に対応できる屋外施設がほしいです。	募金活動やPR。
第2の地域通貨、商品券の地位向上。商品券の使いやすさ。	ソーサマンこと読めない匠瑛市を使った商品券の発行。

まちづくりへの意見・提案（問7）	問7の回答に対してできること（問8）
	8月4日の女神輿は神事ではなく、イベントなので行政の多大な協力をお願いします。観光協会としては、この企画を是非進めていきたいと思います。
ゴミ（ガソリンオイル等の）処理をしやすい場と期間。	情報の提供。
積極的な空家利用活用。現在でも匝瑳市の環境の良さを理由に数件の移住者がいる。	匝瑳高校・八日市場敬愛高校・第一中学校・第二中学校・野栄中学校等にイベントの場所を提供したい。
高齢者が住みやすく、また、元気な高齢者が働ける場があると良いと思います。	独居老人宅への見守りや、空家の清掃管理などを通して、就業機会につなげられたらと思います。
<p>●匝瑳市総合計画を見ると、きれいな言葉が並べられているが、高齢化に伴う農業対策や、商店街のシャッター街化対策などをどう解決していくのか具体的対策とその計画が分かりにくい。管理のサイクルを回した総合計画の推進が望まれる。</p> <p>●今までの施設は、中途半端なものばかりである。若者が住みやすいまちづくりのため、働く場の確保や医療体制の充実、商業施設の充実（各地区へ）、子どもの遊び場の充実等思い切った対策が必要である。</p> <p>●農工商業の活性化の強化。</p> <p>●匝瑳市内で生活できる基盤整備を進める。（勤務先が確保できることが在住することの基本になる。進学・就職で市を離れても戻ることができる環境を充実させることが急務になる）</p> <p>●商店街の活性化と若い人の定住促進。</p> <p>●過疎、高齢化の急速な進展は、地域の質的な変化（悪化・弱体化）を引き起こしている。この状況を冷徹に分析し、市は何に重点を置き、政策を構築すべきか熟慮願いたい。老いた市民も普通に暮らしていけるような匝瑳市であってほしいと考える。</p> <p>●市長との話し合いについての議題は、各地区の区長会で議論をしてまとめていく時間が必要となるので、概ね2～3か月程度の余裕のある一定の期間を設けるとよいのではないのでしょうか。（市の企画などと重複することも多いと思いますが、それもやむを得ないのでしょう）</p> <p>●不在地主や未相続地などにある立木やその枝などで、道路上に出ているものや、隣地などへ出て迷惑をかけているものについては、簡易な方法で処理解決することができないものか悩み考えることがある。</p> <p>●小中学校の教室へのエアコン設置。</p>	<p>●三現主義で、住民の声を集めた対応が可能である。</p> <p>●一団体だけで取り組むことは難しいことから市が中心になり、主導的に取り組む必要がある。本気度が見えるような成果がわかることが市民に期待を持たせることができる。</p>
匝瑳市内でも空家の増加が目立っている。私たちの交流グループ内でも都市から移動希望者がかなりいる。しかし、家主が把握できず、賃貸交渉もままならない状態である。市からの情報があればもっと移住者が増えると思う。すでに数家族の移住実績がある。	移住希望者の条件を市へ情報提供し、マッチング可能な先をリストアップしていただきたい。

まちづくりへの意見・提案（問7）	問7の回答に対してできること（問8）
防災無線を防犯協会にも活用をお願いしたい	
今、目の前の問題は、どれ一つとっても暗いイメージであります。（例：少子高齢化＝人口減少→地域崩壊・経済のさらなる低迷・後継者なし等）こうした、現状に次世代の人々に夢を持たせるためには、市役所に新たな地域戦略という特別な課をつくり、これを活用・強化し、次世代の人々のために今打つ手は何か。を早く立ち上げてほしいと思います。	
西日本の大震災を教訓として、地震だけではなく、各地域にあった非難のマニュアルが必要。	各地域での要注意場所・避難ルートの把握。
2025年に向かって高齢化社会（高齢化比率38%）と言われる中、少子化によって地域を担う人が非常に少なくなる。各地区、限界集落にならないよう、地域住民が互いにつながりと支え合いによって行政と共に共生社会を構築することが必要だと思います。	地域の清掃美化活動の推進。ゴミ出しについて分類のやり方、出し方について、年に一度説明や話し合いを地区ごとに開きたい。非常に出し方を誤っている人が多い。
住環境の整備。	建築相談の実施。
銚子連絡道路の早期完成のために市内各地区の関係者皆様のご協力をご理解をお願いしたい。	銚子連絡道路の早期完成を目指して、最大限の機動力を発揮させ、市民の皆様の要望を実現させるための努力をいたします。
学校は市内各地域の拠点であると認識しています。近年の異常気象・また、災害への備え等からエアコンの設置を含む計画的な学校施設・設備の整備、改修は必要と考えます。	各家庭、地域との連携をより強固にし、'開かれた学校'の理念の下。「チーム学校」をさらに推進します。また、実情に即した健康教育・防災教育等の充実に一層努めてまいります。
●市民協働のまちづくり事業に補助金はいらない。いつまでたっても行政は縮小できない。 ●スポーツクラブ等の補助を頼らない。自主運営できる団体を増やしていく。	現在の活動を充実することで精いっぱいです。（企画へ 総合計画策定も必要だが、企画管理も進めてほしい。起債があれば匝りの里もふれあい農園もパークゴルフも建設できるが、いかに運営できるか見積もり計画では悲しくなる。よろしく頼みます。）
●幼小中学校教室へのエアコン配置。 ●地域・学校の特性（小規模校）を生かした教育の推進。（安易に統合はしない。その地域で学校に通わせたいと人々が願う学校づくり。）	●熱中症予防のガイドラインの作成。 ●啓発活動。 ●学校PR活動への呼びかけ等。
スポーツ活動を通して市民の参加意識の向上を図り、市民の健康づくり及び市民等の交流が図れるよう市・体育協会が連携を強化する。	
イベント等を行ってもその後、どうなったか。ただ人が集まれば良いのか。いつも同じ人たちが計画して、とにかく終わればよいのではないか。しかし、市民も変わらなければならないと思う。私たちは継続事業を続けて行こうと思っています。	市・市民すべてが『市を盛り上げて行こう！』という機運にならなければいけないと思う。匝瑳市はそこその位置にあるだけに難しい。商店街や植木のまちと言っても何が植木のまちなのか。市役所入口の日本一の植木の見本はひどいものである。また、事業等決まりましたら連絡させていただきます。

第3章 自由記入・その他

第3章 自由記入・その他

問2 貴団体の活動において、現在どのような課題や困りごとがありますか。

(自由記入)

問3 問2の課題を解決するために、貴団体が取り組んでいることは何ですか。

(自由記入)

現在の課題や困りごと (問2)	解決するために取り組んでいること (問3)
<ul style="list-style-type: none"> ●自然災害に対する高齢者等の避難支援の対応「課題」 ●事業活動として介護事業を実施しているが、専門職の人材が不足して目指す事業展開ができない。「全国的な問題」 	<ul style="list-style-type: none"> ●先駆的な取組事例の研究 ●前記を補うために、臨時職員の補充とボランティアによる活動の支援。(しかし根本的な解決にはならない)
<p>グループ構成員は高齢化しており、活動を担う人が少なくなっている。ボランティア願望の人は多いが、実際に行動に移す人は少ないのが現状だ。</p>	<p>この解決には二つの方向で動いている。</p> <p>①ボランティアフェスタを開催し(今年で8回目)、ボランティア願望の人に働きかけている。</p> <p>②中学生・高校生に参加してもらい、学生の頃からボランティアに興味と関心を持ってもらう。特に困っている人を助けるという自然な行為を身に付けてもらう場にするよう努力している。</p>
<p>問2②について…24時間在宅システム。10人の先生で行ってきているものの、だいぶ年齢も上がり、さらに若手内科・外科医がいない。</p> <p>問2③について…同じくシステムのサーバーの料金が毎年かかっているため医師会の持ち出しとなっている。</p> <p>問2⑥について…つばきの里と九十九里ホームがあるが、まだ人数が足りない。</p>	<p>問2②について…新しい内科・外科の開業医待ち。</p> <p>問2③…県の補助金事業があり、その案について、在宅システムのメンバーで話し合い、8月9日に補助金をいただくことに決定する。</p>
<p>自家用車のない障害者の交通手段</p>	<p>新会員の加入推進が思うようにいかない</p> <p>企業間の紹介・OB諸兄のご子息、広報による事業PRなど。行政からの紹介、出向などがあれば行政と一体となり地域社会に発展できると考える。</p>
<p>障害児・者の余暇活動支援のために始めました。児童の放課後など児童デイサービスは充実しているようになりましたが、卒業後の障害者たちが休日楽しめるような場所があると良いと思います。</p>	<p>卒業後の障害者の事業所がお休みになる土曜日、日中一時事業で受け入れています。</p>
<p>保護者の高齢化や新たな会員の確保が難しくなっており、会員の減少とともに活動も停滞している</p>	<p>市内イベントなどに模擬店を出店し、地域との交流を図り本会の普及啓発に努めるとともに、新規会員の獲得に繋がるよう努めている</p>
<p>30名の部員はいるが、主に活動に参加するのは数名で、新規部員も見込めず、人材が不足している。</p>	<p>近隣の商工会青年部との合同事業を多く開催し、意見交換等を行っている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●魅力ある組織にする。 ●大型店の換金手数料を1%から2%にせめてほしい。回収率は大型店は全体の約60%以上あるので(プレミアム商品券について) 	<p>魅力ある商品券にして換金手数料を大型店で上げても参加してもらえようになれば。</p>
	<p>各自で呼びかけをするときもある。</p>

現在の課題や困りごと（問2）	解決するために取り組んでいること（問3）
従業員の高齢化が進んでおり、若い人材の確保が難しくなっている	従業員の確保についてはハローワーク、縁故頼りであったが、今後は市内・近隣の高校等にも求人を求める
	チラシ・啓発活動等を利用してセンターの作業内容を周知、会員募集を行っている
メンバーも高齢化になってきており、新しく若いメンバーの加入が少ない	地元他団体と交流を図り、活動地を提供し、活動をしている
<p>●区長は市から委嘱されて活動しているが、具体的に何をすれば良いか規則等で明記されていない。また、その立場や連絡員との関係も明確ではない。</p> <p>●高齢化に伴い、人材確保が難しい。</p> <p>●次期区長を引き受ける人物が極めて少ない。</p> <p>●過疎化・高齢化により、地区の活力・財力・協力体制の弱体化が急速に進み、生活環境の維持が難しくなっている。市行政の全面的なバックアップが必要。</p>	<p>●市長を囲む座談会や区長役員会等で問題提起している。</p> <p>●一部役職については輪番制度に対応している。</p> <p>●市担当・議員と相談していきたい。</p>
高齢化に伴い人材確保が難しい	
	機能別団員の加入を考えている。すでに取り組みを始めている。
	人材の確保。
大規模な災害が予測される近年、市行政を中心に水防訓練等の積極的な参加を検討していただきたい	毎年、県土木、農業事務所との意見交換会や水防訓練等の活動を通じて地域の防災力を高め、また、交流を深めることで各事業のスムーズな実現に努めています。
	本会は市教育委員会との緊密な連携のもとに市内の教育の調和的進展に努めています。また、市教委を中継しながら市行政全般の支援や指導・助言を得たいと願っており、今後とも、双方向の情報共有に努めたいと思います。
野栄地区には会議室や研修室はたくさんあるが、利用するには生涯学習室の対応が何回もお願いしているができていない。このような調査も期待していない。	困りごとなどあっても自分で解決している。ある予算でやりくりし、不足分は参加費、会費でやっている。
銚子市・旭市とも事務局は教育委員会・生涯学習課に置かれ、県P連や他団体との連携を継続的に行っている。また、市から委嘱される各種団体の委員についても五月雨式に依頼されるため、一学校の教育についての運営の妨げとなっている。	事務局校は13校(小学校10校・中学校3校)が3グループに分かれ、1年毎にその中の1校が担当しているが、異動等で教頭が代わってしまうため、他市と比べ、継続性と一貫性に欠けている。
	活動資金が年々減少傾向にあるので、各種団体への活動費を削減して活動への協力を依頼しているが、団体の参加意識の高揚が難しくなっており、また、各種団体の活動力の希薄化が心配である。
地元で生活する私たちにとって、他地域(外国)と交流するのも良いが、これからは地元へ何か還元していかなければと話し合いをしているところ	毎月少しずつ寄付金を募り、貯めたお金を市内の小学校に寄付していくことを計画・実行していくこと、しかし、一度に全校はできないので毎年行う予定。
	60代の若い人に声をかけて加入を勧めている
	経験を生かした社会貢献

現在の課題や困りごと（問2）	解決するために取り組んでいること（問3）
私達保健推進委員会は、会員全員が市民への食の提供や手伝いをする関係上、今年度より便検査を行うこととした。しかしながら、会員数も多いため、負担金も多額になってしまう。今年は他の団体に一部協力いただくが、来年度は？	
	<ul style="list-style-type: none"> ●創業者支援 ●商工業者の持続的な経営活動のための経営発達支援。計画に沿った支援。
市の活動が課ごとに別れていて、横の連絡網がなさすぎ	何事も市の活動には参加するようにしています。（声をかけられた時にだけですが）
	イベントの開催を検討。
	若い世代への声かけ。
部員の高齢化	若い世代への勧誘。
農村環境の保全を担うため、当改良区で維持管理している農業用施設の中では、耐用年数が過ぎ、本来の機能が低下したり、故障するものが多く出ている。また、改良区管内では、ほ場整備事業実施中の地区もあり、農業用施設も増え、ますます機能低下や故障する施設の増加が予想される。これらの施設を維持管理するための財源を確保したい。	<ul style="list-style-type: none"> ●人材確保のため、各市町の広報やハローワーク等を通じ、募集を行っている。 ●国・県・千葉県土地改良団体連合会・市町等の事業で取り組み、補助金、負担金等を受け、改良区負担、更には、組合員である農業経営者負担の軽減を図っている。
	土地の耕作者の減少等により、遊休農地が増えることが、これから多くなることが予測されます。昨年から土地の集積の話をしているが、なかなかまとまらない。大区画整備の話も以前に出たがまとまらなかった。今後もっと話し合いの場を多く作りたいと思います。
	求人募集。組合費の値上げ。要望活動等。
ボランティア活動のため、人数は多くいるが、実際には出席者が少ない	
<ul style="list-style-type: none"> ●休会する子ども会も多く、活動の機会が減っている。 ●各子ども会の会長は、保護者の方が多く、仕事を持つ方も多い。事務的な作業が多く、負担になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●少ない子ども会を統合し、人数を増やす。 ●休会している地区からの参加も呼びかける。 ●事務手続きを少なくする（昨年の文書を活用する等）

◇その他に記述された内容

問1(3) 活動分野

- ・ ボランティア活動全般
- ・ 高齢者のための就業機会確保、提供
- ・ 地域交流
- ・ 人権擁護
- ・ 農業水利施設の維持管理

問1(4) 活動範囲

- ・ 改良区受益管内（4件）
- ・ 匝瑳市・横芝光町・多古町
- ・ 匝瑳市・横芝光町
- ・ 八日市場地区
- ・ 里山条例に基づく契約山林
- ・ 匝瑳市外13市町村

問2 活動において課題や困りごと

- ・ 訪問診療時、訪問看護ステーションの人材も必要。
- ・ 高齢化(会員)が進み、若い会員が少ない。
- ・ 脱会組合員が多い。
- ・ 集落の組織に入らない住民への対策。
- ・ 活動を支える事務局を一つの学校(教頭)が行っている。
- ・ 商工業者数の減少。
- ・ 解散に向けて土地の売却を考えている。
- ・ 活動を担う人材の高齢化が進んでいる。

問4 活動を充実させるために市に期待する支援

- ・ 活動費(資金、交付金)の充実(3件)
- ・ ボランティアポイント制の導入。
- ・ 活動資金の援助。
- ・ 人的な支援。
- ・ 要望等に対する速やかな対応。
- ・ 団員手当・費用弁償の向上。
- ・ 組織運営の改善。
- ・ 小規模事業者に対する支援。
- ・ 市行政の地域環境維持の前向きな取組

問5 活動を充実させるために地域や市民に求めること

- ・ 農業者年金への理解がなかなか得られない。

問6 まちづくりを進めていく上で力を入れるべき項目

- ・ 行事のために仕事を休みやすい環境。
- ・ まちづくりの研究と事業開拓。
- ・ 6次産業の活性化。
- ・ 移住者の雇用先確保。

第 4 章 意識調査票

第2次匝瑳市総合計画策定のための 団体意識調査

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、匝瑳市では、将来都市像として掲げた「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市」を実現するために推進している「匝瑳市総合計画」が平成31年度（2019年度）をもって計画終了となることから、「第2次匝瑳市総合計画」策定を進めています。

本調査は、計画の策定にあたり、地域で活動している各種団体の方にご意見をお聞かせ願いたく実施するものです。

皆様からの回答はすべて統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的をご理解の上、率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

平成30年7月

匝瑳市長 太田 安規

[記入上の注意]

1 回答は、設問ごとに（1つに○）、（2つまで○）など、それぞれ指定されていますので、各設問の回答方法に従って回答してください。

○は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）

2 ご記入いただいた調査票を8月17日（金）までに返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストへご投函ください。

3 調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

匝瑳市役所 企画課 企画調整班

電話：0479-73-0081 FAX：0479-72-1114

E-mail: k-kikaku@city.sosa.lg.jp

はじめに

問1 貴団体について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

(1) 団体名	
(2) メンバー・会員数	_____ 人
(3) 活動分野 (あてはまるものすべてに○)	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康・福祉・医療・介護分野 (健康づくり、高齢者・障がい者・子育て支援など) 2 産業・経済分野 (農業振興、商店街活性化、観光振興など) 3 生活環境・都市建設分野 (自然環境保護、リサイクル、緑化・美化、街並整備など) 4 安全・安心分野 (防災、防犯、交通安全活動など) 5 教育・交流分野 (生涯学習・スポーツ、学校支援、祭り・伝統文化など) 6 その他 ()
(4) 活動範囲 (1つに○)	<ol style="list-style-type: none"> 1 自治会の区域 2 小学校区 3 中学校区 4 市全域 5 その他 () 6 区域を限定していない

活動における課題について

問2 貴団体の活動において、現在どのような課題や困りごとがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 活動する機会が少ない
- 2 活動を担う人材の確保が難しい
- 3 活動を支える資金の確保が難しい
- 4 活動する場所の確保が難しい
- 5 活動するための情報が少ない (入手できない)
- 6 その他 ()
- 7 特にない

(自由記入欄)

問3 問2の課題を解決するために貴団体が行っていることは何ですか。

(自由記入欄)

19 青少年の健全育成	20 地域文化の振興
21 コミュニティの育成	22 国際交流・地域間交流の促進
23 男女共同参画の促進	24 人材の確保と育成
25 市民に役立つ情報提供の推進	26 協働によるまちづくりの推進
27 ICT活用の推進	28 持続可能な行財政運営
29 人口減少対策・定住の促進	30 近隣自治体との連携強化
31 国・県との連携強化	32 その他 ()

問7 貴団体の立場から、匝瑳市の今後のまちづくりについてのご意見・ご提案がありましたら、お聞かせください。（自由記入）

問8 問7のご提案に関連して、貴団体で取り組むことができる（できそうな・取り組みたい）活動があれば、お聞かせください。（自由記入）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

**第2次匝瑳市総合計画策定のための団体意識調査
結果報告書
平成30年12月発行**

編集・発行 匝瑳市企画課
〒289-2198
匝瑳市八日市場ハ 793 番地2
電話 0479-73-0081
FAX 0479-72-1114